



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月11日

上場会社名 株式会社 大 和 上場取引所 東
 コード番号 8247 URL <http://www.daiwa-dp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 宮 二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営戦略本部長 (氏名) 斉藤 尚善 TEL (076) 220-1100
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日
 配当支払開始日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
25年2月期第3四半期	36,509 △2.9	189 60.7	210 102.6	190 -
24年2月期第3四半期	37,616 △16.3	117 124.4	103 △52.6	△143 -

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 78百万円 (-%) 24年2月期第3四半期 △393百万円 (-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	6.78	-
24年2月期第3四半期	△5.12	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第3四半期	47,358	5,990	12.6	213.18
24年2月期	46,855	5,911	12.6	210.36

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 5,990百万円 24年2月期 5,911百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00
25年2月期	-	0.00	-		
25年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	52,000 △0.0	420 4.0	270 2.4	100 9.9	3.56

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 有
新規 ー 社（社名 ）、除外 1 社（社名 株大和ハウジング）
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。
- (3) 会計処理の原則・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 有 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年2月期3Q	30,017,000株	24年2月期	30,017,000株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	1,916,139株	24年2月期	1,913,650株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年2月期3Q	28,102,105株	24年2月期	28,104,653株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、平成25年1月11日付にて、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) 重要な後発事象	8
4. (参考) 個別業績の概要	9
(1) 平成25年2月期第3四半期の個別業績	9
(2) 平成25年2月期の個別業績予想	9
(3) 個別店別・商品別売上高	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(3~11月)のわが国経済は、デフレの影響など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

この間、当社企業グループといたしましては、主力の百貨店業におきまして、お客様満足の実現に向け「ライフスタイル・ソリューション型百貨店」の構築を目指し、積極的な営業活動を推進して参りました。

香林坊店では、9月に7階ファミリーフロアと8階レストラン街フロアを改装し、先に実施した婦人ファッション、暮らし、食品フロアの売場改装との全館的な相乗効果により、新しい顧客層の拡大につながり、概ね堅調に推移いたしました。

富山店では、1階婦人雑貨フロアを中心に見直しを行い、品揃えの充実を図り魅力向上に努めて参りました。

高岡店では、地域に密着したきめの細かい営業展開に努め、収益体質の改善を図って参りました。

こうした取り組みと併せ、ダイワプライマリーカード会員の拡大に努め、会員様への毎月の積極的な販促活動を実施して参りました。加えて、諸経費面につきましても、LED照明の導入を更に進めるとともに包装資材の集約化などコスト管理を徹底し、一層の圧縮に努めて参りました。

一方、その他事業におきましても、販売費及び一般管理費の圧縮を図り、経営効率向上に取り組んで参りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、

・売上高	365億	9百万円	(対前年同四半期増減率	△	2.9%)
・営業利益	1億8千9百万円		(対前年同四半期増減率		60.7%)
・経常利益	2億1千	万円	(対前年同四半期増減率		102.6%)
・四半期純利益	1億9千	万円	(—)

となりました。

尚、当期から、お歳暮早期受注ギフト等の11月末までの受注分のうち12月納品分2億4千万円を12月の売上計上とすることとしました。これに伴い、前年同四半期累計期間の売上高を本年ベースに置き換えた、実質の売上高対前年同四半期増減率は、2.3%の減少でありました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、473億5千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億3百万円増加しました。これは主として、売場改装に伴う固定資産の増加によるものであります。

負債については、413億6千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億2千4百万円増加しました。これは主として、お歳暮ギフトの早期承りを拡充したことによる買掛金の季節変動に伴う一時的な増加であります。

純資産については、59億9千万円となり、前連結会計年度末に比べ7千8百万円増加しました。これは主として、繰越利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績につきましては、概ね予想通りに推移しておりますが、今後の消費動向の先行きは不透明であり、現時点におきましては平成24年4月13日付「平成24年2月期決算短信」において発表いたしました業績予想を据え置いております。

2. その他の情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の連結子会社である株大和ハウジングは平成23年5月23日に事業を終了し、平成24年1月31日に解散決議を行い、平成24年5月31日をもって清算いたしました。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

③ 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,526	4,349
受取手形及び売掛金	2,131	2,654
商品及び製品	3,557	3,727
仕掛品	21	13
原材料及び貯蔵品	75	84
繰延税金資産	52	75
その他	444	515
貸倒引当金	△28	△36
流動資産合計	10,781	11,384
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,964	45,040
減価償却累計額及び減損損失累計額	△30,500	△29,501
建物及び構築物（純額）	15,464	15,538
機械装置及び運搬具	628	628
減価償却累計額及び減損損失累計額	△547	△563
機械装置及び運搬具（純額）	81	65
土地	9,982	9,981
その他	1,146	1,279
減価償却累計額及び減損損失累計額	△772	△863
その他（純額）	373	415
有形固定資産合計	25,901	26,000
無形固定資産		
施設利用権	7	7
ソフトウェア	22	159
無形固定資産合計	29	166
投資その他の資産		
投資有価証券	2,320	2,143
差入保証金	7,639	7,502
繰延税金資産	82	70
その他	99	90
投資その他の資産合計	10,142	9,806
固定資産合計	36,073	35,973
資産合計	46,855	47,358

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,072	3,663
短期借入金	12,891	12,788
1年内返済予定の長期借入金	979	1,851
リース債務	21	37
未払金	342	323
未払消費税等	42	17
未払法人税等	35	24
未払事業所税	46	34
未払費用	101	112
商品券	7,653	7,064
預り金	4,710	4,421
賞与引当金	36	85
商品券等回収損失引当金	712	723
ポイント引当金	92	121
その他	100	1,548
流動負債合計	30,838	32,816
固定負債		
長期借入金	6,876	5,404
リース債務	53	74
繰延税金負債	752	689
再評価に係る繰延税金負債	362	362
退職給付引当金	1,647	1,619
資産除去債務	188	191
環境対策引当金	24	9
その他	197	198
固定負債合計	10,104	8,551
負債合計	40,943	41,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,462	3,462
資本剰余金	1,151	1,151
利益剰余金	864	1,054
自己株式	△588	△588
株主資本合計	4,890	5,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160	48
土地再評価差額金	861	861
その他の包括利益累計額合計	1,021	909
純資産合計	5,911	5,990
負債純資産合計	46,855	47,358

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	37,616	36,509
売上原価	28,944	27,990
売上総利益	8,672	8,518
販売費及び一般管理費	8,554	8,329
営業利益	117	189
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	42	43
持分法による投資利益	13	—
長期未回収商品券	446	434
固定資産受贈益	—	66
その他	290	237
営業外収益合計	794	782
営業外費用		
支払利息	283	252
商品券等回収損失引当金繰入額	337	372
その他	187	136
営業外費用合計	808	761
経常利益	103	210
特別利益		
投資有価証券売却益	67	134
店舗閉鎖損失引当金戻入額	384	—
特別利益合計	452	134
特別損失		
固定資産除却損	53	112
減損損失	204	41
商品処分損	180	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	102	—
環境対策引当金繰入額	24	—
固定資産売却損	23	—
その他	58	—
特別損失合計	646	154
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△90	190
法人税、住民税及び事業税	25	13
法人税等調整額	27	△12
法人税等合計	53	0
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△143	190
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△143	190

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△143	190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△205	△111
持分法適用会社に対する持分相当額	△44	—
その他の包括利益合計	△249	△111
四半期包括利益	△393	78
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△393	78

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

当社は、取締役会において、当社所有の固定資産を下記の通り譲渡することを決議いたしました。

1. 譲渡の理由

現在、遊休資産となっている土地建物について、所在地域の再開発事業に伴い譲渡し、資産の効率化を図るものです。

2. 譲渡する固定資産の概要

① 所在地	富山県富山市西町5-4 他
② 土地面積	1,822.8 m ²
③ 建物規模	地上6階・地下1階
④ 譲渡益	174百万円

3. 譲渡する相手先の概要

① 名称	西町南地区市街地再開発組合
② 所在地	富山県富山市上本町9-3
③ 代表者	理事長 河上 彌一郎
④ 設立年月日	平成24年2月20日
⑤ 主な事業の内容	都市再開発法に基づく再開発事業の施行
⑥ 当社との関係	資本・人的・取引いずれも該当事項はありません

4. 譲渡の日程

① 当社取締役会決議	平成25年1月11日
② 物件引渡し	平成25年1月下旬(予定)

4. (参考) 個別業績の概要

- ・個別業績の概要は法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(1) 平成25年2月期第3四半期の個別業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

【個別経営成績】

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	34,440	△2.6	392	18.8	227	61.2	258	35.1
24年2月期第3四半期	35,353	△15.9	330	40.9	141	△13.6	191	△50.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	9.21	—
24年2月期第3四半期	6.82	—

【個別財政状態】

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第3四半期	43,885	4,785	10.9	170 28
24年2月期	41,851	4,640	11.1	165 12

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 4,785百万円 24年2月期 4,640百万円

(2) 平成25年2月期の個別業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	50,000 2.0	700 16.9	220 5.4	100 △71.1	3 56

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

(3) 個別店別・商品別売上高
【店別売上高】

(単位：百万円, %)

店 別	期 別	前第3四半期累計期間 〔自平成23年3月1日 至平成23年11月30日〕		当第3四半期累計期間 〔自平成24年3月1日 至平成24年11月30日〕		増減金額	対前年 同四半期 増減率
		金 額	構成比	金 額	構成比		
香 林 坊 店		17,403	49.2	16,978	49.3	△425	△2.4 (△1.8)
富 山 店		13,641	38.6	13,536	39.3	△105	△0.8 (0.1)
高 岡 店		4,309	12.2	3,926	11.4	△ 383	△8.9 (△8.4)
合 計		35,353	100.0	34,440	100.0	△913	△2.6 (△1.9)

(注) 従来、お歳暮早期受注ギフト等については、受注時に売上計上しておりましたが、当期から当社の売上計上基準である「納品基準」をより厳格に適用し、11月末までの受注分のうち12月納品分については、12月の売上計上とすることといたしました。

これに伴い、第3四半期累計期間の売上高は、従来に比べ240百万円減少しております。なお、括弧内の数値は前年同四半期累計期間の売上高を、本年ベースに置き換えた数値と比較した増減率を記載しております。

【商品別売上高】

(単位：百万円, %)

商 品 別	期 別	前第3四半期累計期間 〔自平成23年3月1日 至平成23年11月30日〕		当第3四半期累計期間 〔自平成24年3月1日 至平成24年11月30日〕		増減金額	対前年 同四半期 増減率
		金 額	構成比	金 額	構成比		
衣 料 品		13,465	38.1	13,248	38.5	△216	△1.6
身 回 品		4,636	13.1	4,794	13.9	158	3.4
雑 貨		4,296	12.1	4,051	11.8	△244	△5.7
家 庭 用 品		2,005	5.7	1,847	5.4	△157	△7.9
食 料 品		9,652	27.3	9,314	27.0	△338	△3.5
そ の 他		1,297	3.7	1,183	3.4	△114	△8.8
合 計		35,353	100.0	34,440	100.0	△913	△2.6